

# 平成29年3月期決算のお知らせ

平成29年5月15日

株式会社T & Dホールディングス  
(コード番号 8795 東証第一部)

太陽生命保険株式会社

大同生命保険株式会社

T & Dフィナンシャル生命保険株式会社

## 1. 契約業績：死亡・医療・介護系商品の販売増加により堅調、保有契約高は過去最高を更新

- ・新契約年換算保険料 1,370億円(前年比3.3%増)
- ・第三分野新契約年換算保険料 286億円(前年比16.5%増)
- ・保有契約年換算保険料 1兆4,984億円(前年度末比2.0%増)
- ・保有契約高 61兆4,462億円(前年度末比1.4%増)

## 2. グループ連結損益：親会社株主に帰属する当期純利益は、前年および計画を上回る水準

- ・親会社株主に帰属する当期純利益 751億円(前年比3.6%増)

## 3. Group MCEV：好調な新契約業績、国内金利上昇等により大幅増加

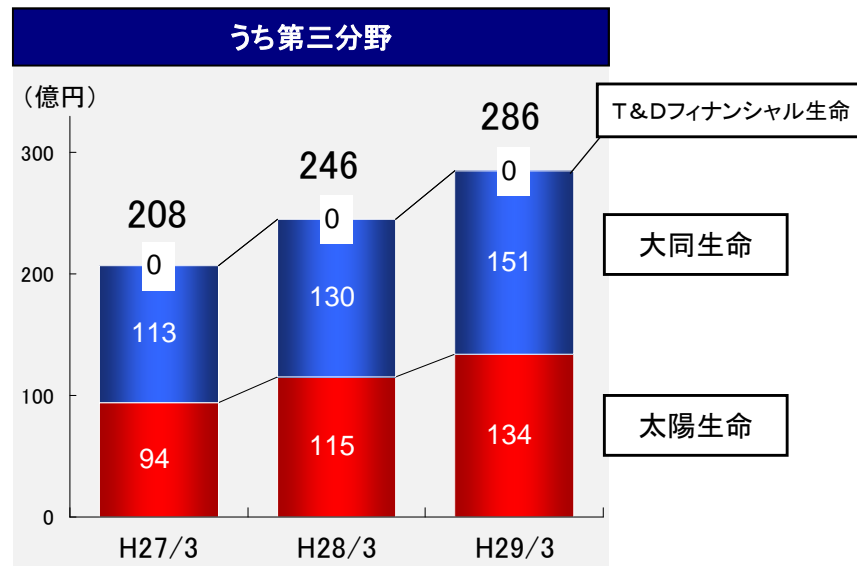
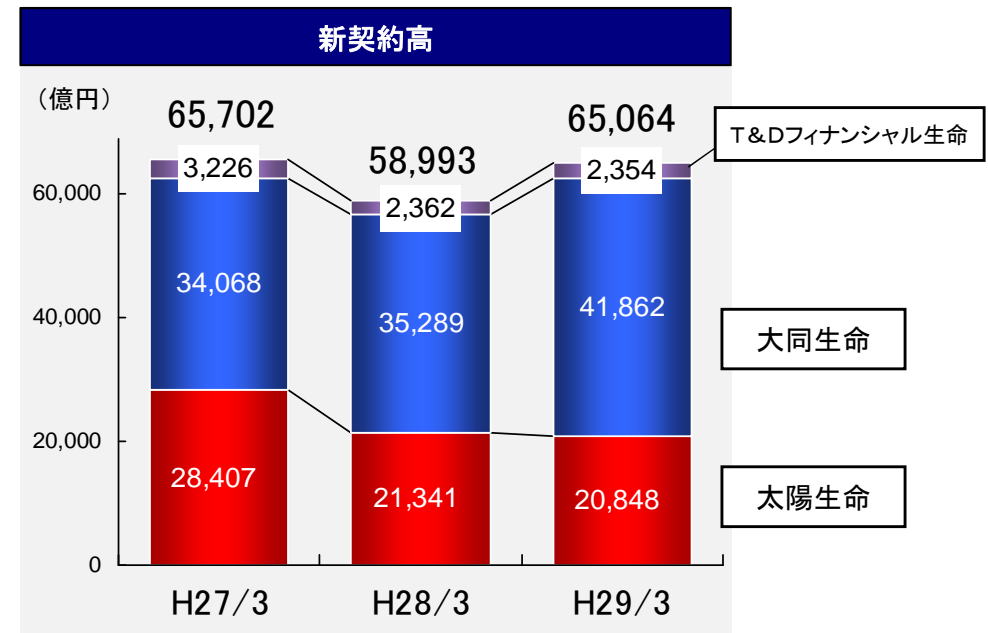
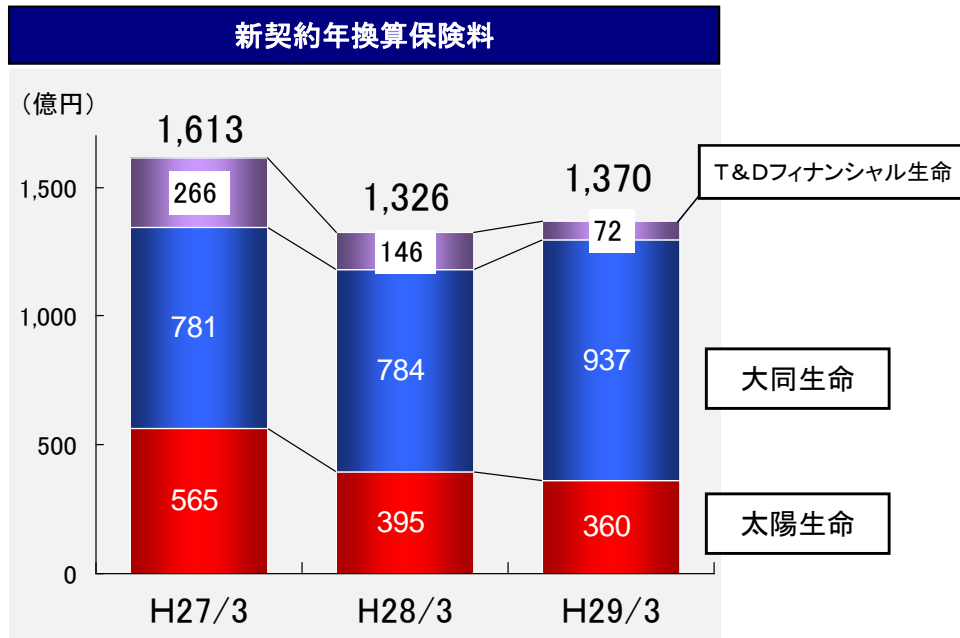
- ・Group MCEV 2兆2,905億円(前年度末比3,968億円増)
- ・新契約価値 1,195億円(前年比631億円増)

## 4. 株主還元：実質利益※の40%以上の総還元を実施予定

- ・1株当たり年間配当金 32.5円(うち期末配当17.5円)、前期から2.5円増配予定
- ・170億円の自己株式の取得を実施予定

※ 実質利益は、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過した額(税引後)を加算して算出

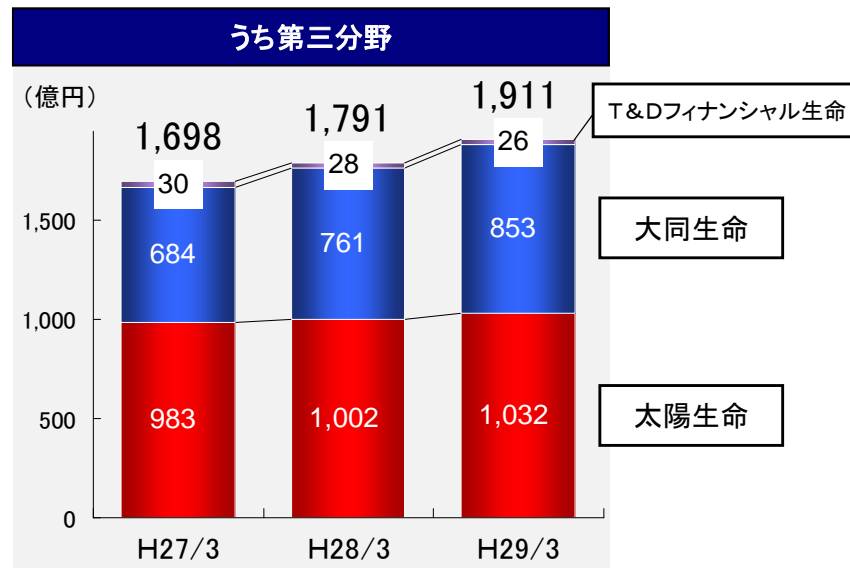
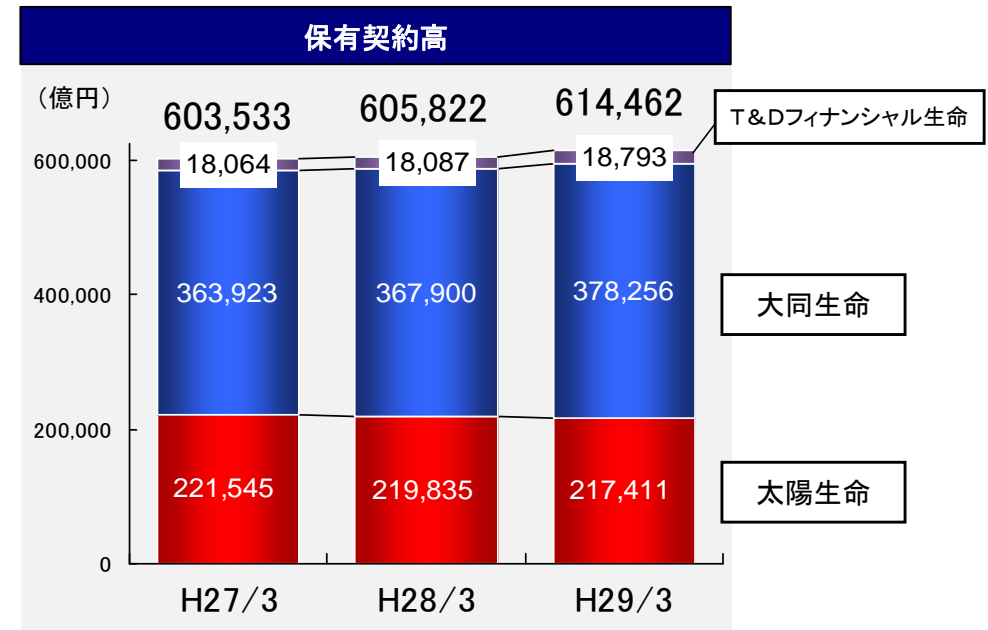
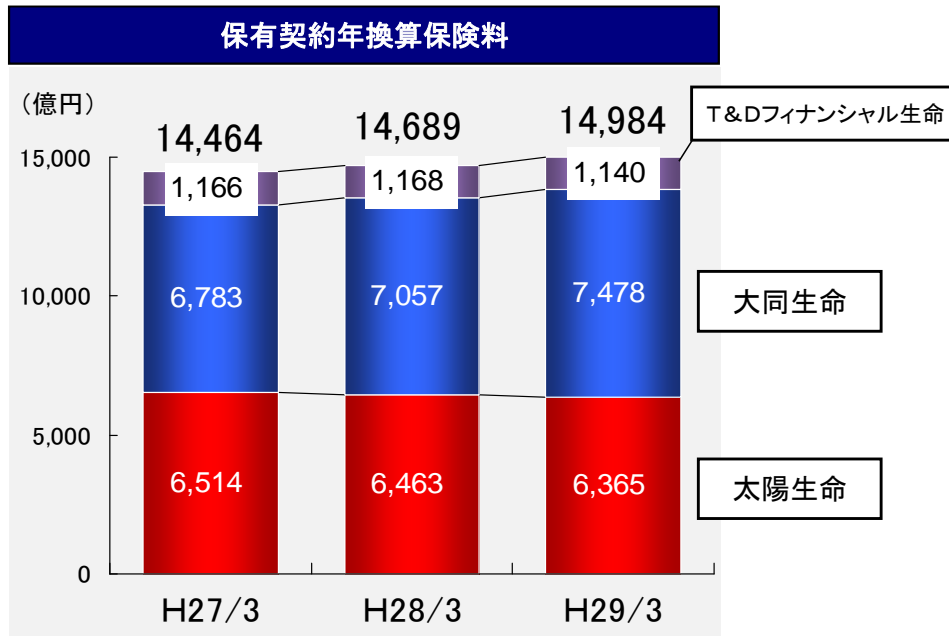
# T&D保険グループ決算の概況(新契約の状況:個人保険・個人年金保険)



- 新契約年換算保険料は1,370億円、前年から3.3%の増加。これは主に、金利低下により一時払商品の一部を販売抑制・休止した一方で、平準払商品の販売が増加したことによる。
- うち医療保障・生前給付保障等の第三分野は286億円、前年から16.5%の増加。これは主に、平準払の医療・介護系商品の販売が増加したことによる。
- 新契約高は6兆5,064億円、前年から10.3%の増加。これは主に、大同生命の主力の個人定期保険の販売が堅調に推移したこと等による。

\* 大同生命の「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額および「介護リリース(無配当終身介護保障保険)」の介護保険金額を加算した新契約高は3社合算で7兆4,414億円、前年から11.3%の増加。

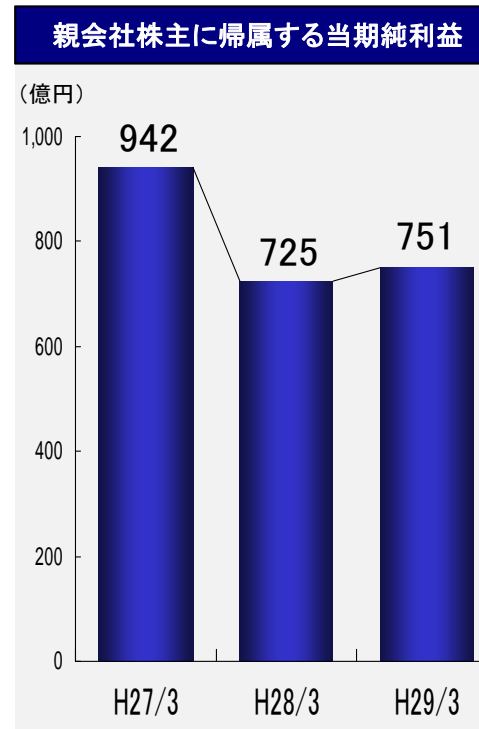
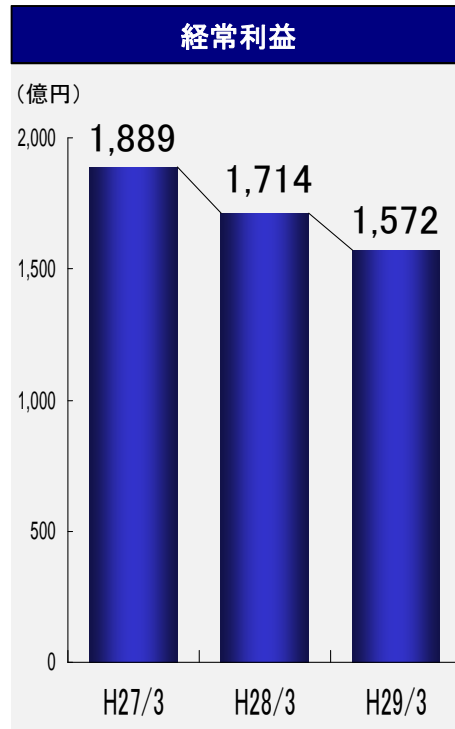
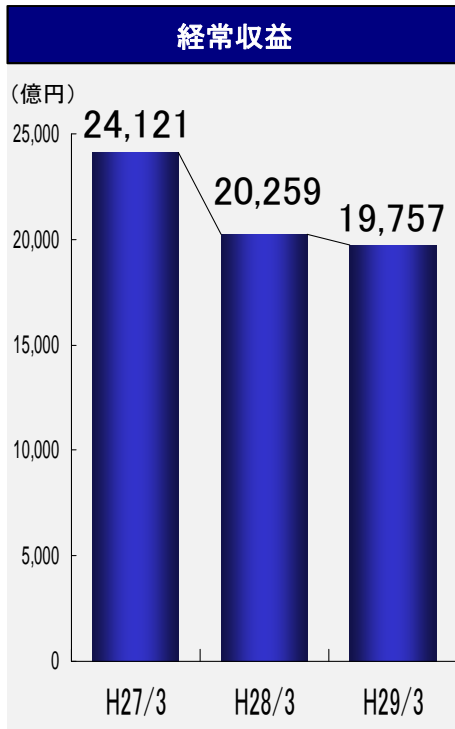
# T&D保険グループ決算の概況(保有契約の状況:個人保険・個人年金保険)



- 保有契約年換算保険料は1兆4,984億円、前年度末から2.0%の増加。
- うち第三分野は1,911億円、前年度末から6.7%の増加。
- 保有契約高は61兆4,462億円、前年度末から1.4%増加。年度末では7期連続で増加し、過去最高を更新。

\* 大同生命の「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額、「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額および「介護リリース(無配当終身介護保障保険)」の介護保険金額を加算した保有契約高は3社合算で64兆6,128億円、前年度末から2.6%の増加。

# T&D保険グループ決算の概況(連結損益)



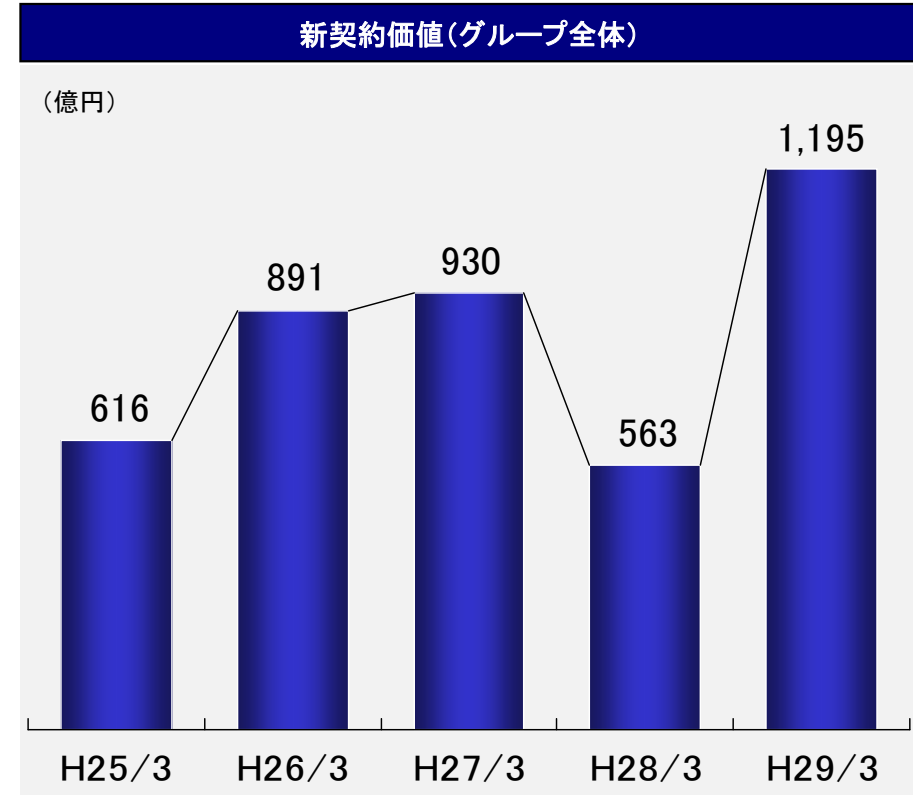
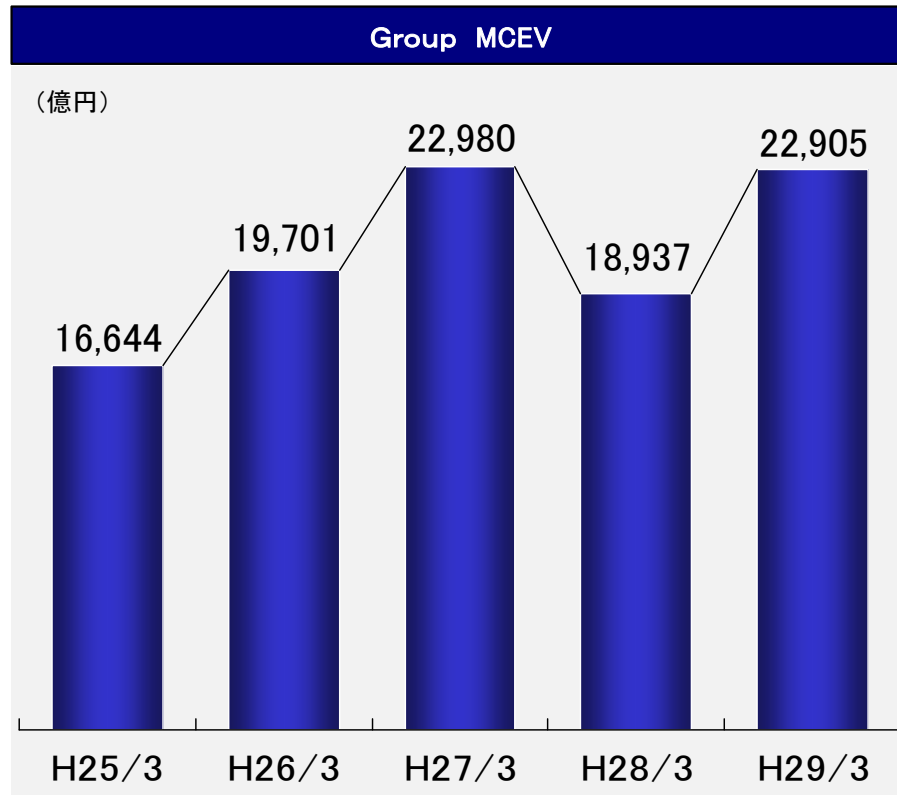
- 経常収益は1兆9,757億円、前年から2.5%の減少。これは主に、金利低下に伴う一時払商品の一部販売抑制・休止や団体年金保険の保険料等収入が減少したことによる。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は751億円、前年から3.6%の増加。これは主に、価格変動リスクを抑えるためのヘッジコストが増加し資産運用費用が増加した一方で、税効果の影響等で法人税等合計が減少したこと等による。

(単位: 億円)

	T&Dホールディングス連結	
	当事業年度	前年比
経常収益	19,757	△ 501 (△ 2.5%)
うち 保険料等収入	15,052	△ 692 (△ 4.4%)
うち 資産運用収益	4,027	+230 (+6.1%)
うち 利息及び配当金等収入	2,766	△ 140 (△ 4.8%)
うち その他経常収益	678	△ 38 (△ 5.3%)
経常費用	18,185	△ 359 (△ 1.9%)
うち 保険金等支払金	11,603	△ 1,425 (△ 10.9%)
うち 責任準備金等繰入額	2,591	+647 (+33.3%)
うち 資産運用費用	1,302	+528 (+68.1%)
うち その他経常費用	711	△ 95 (△ 11.8%)
経常利益	1,572	△ 142 (△ 8.3%)
特別利益	3	+1 (+83.2%)
特別損失	353	+59 (+20.1%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	253	△ 65 (△ 20.5%)
法人税等合計	214	△ 160 (△ 42.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	751	+26 (+3.6%)

\* 保険料等収入の3社合算は1兆5,016億円(前年比△4.4%)です。

# T&D保険グループ決算の概況(市場整合的エンベディッド・バリュー:MCEV[速報])



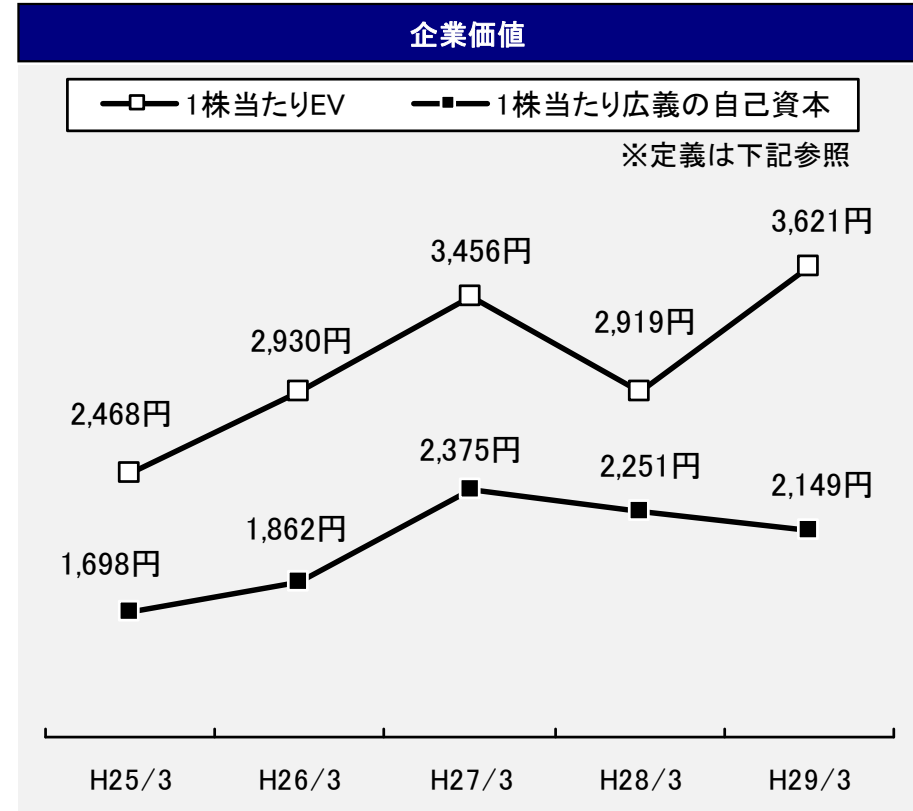
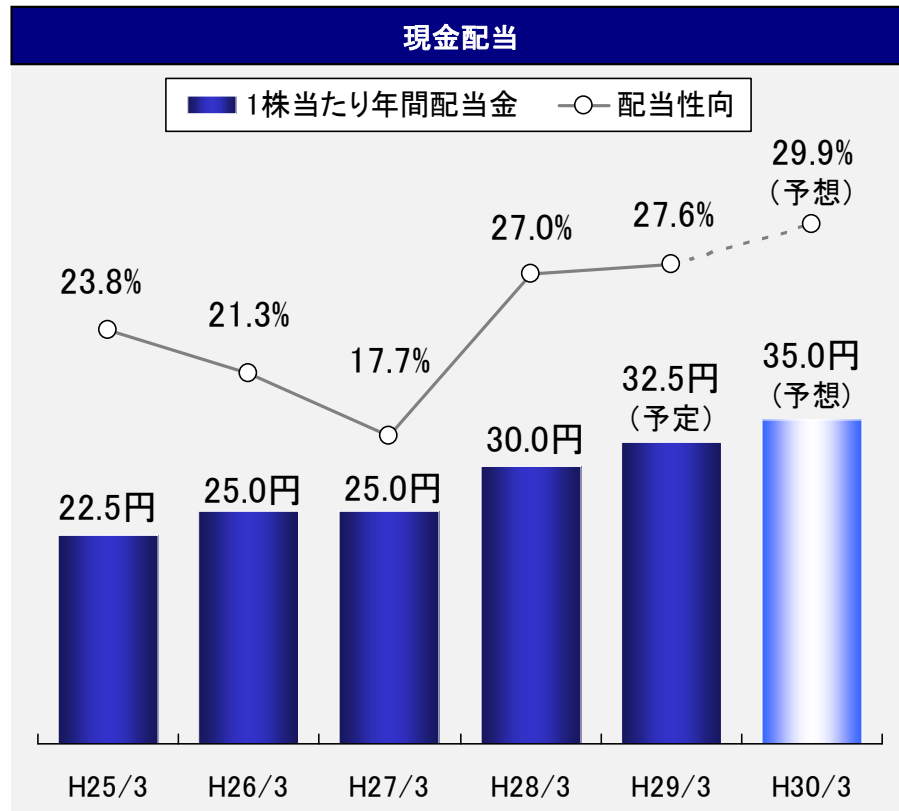
\* 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV(エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。

\* 新契約価値は、当年度中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。

- Group MCEVは2兆2,905億円、前年度末から3,968億円の増加。これは主に新契約の獲得や前年度末に比べて国内金利が上昇したこと等による。
- 新契約価値は1,195億円、前年から631億円の増加。これは主に好調な新契約業績に加え、国内金利が上昇したこと等による。

\* MCEVについては本日開示のニュースリリース(速報版)をご覧ください。なお、詳細につきましては、第三者の検証を受けた平成29年3月末MCEVを、平成29年5月18日に開示する予定です。

# T&D保険グループ決算の概況(1株当たり指標)



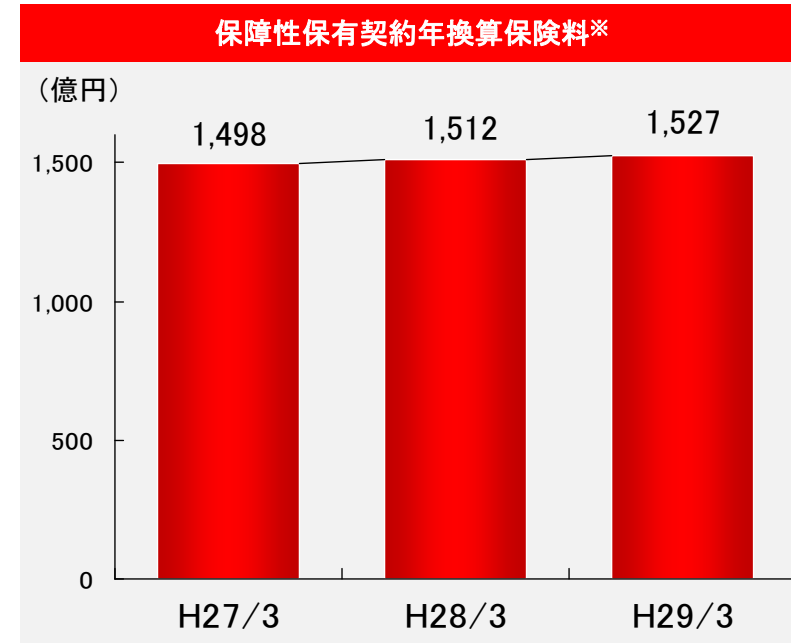
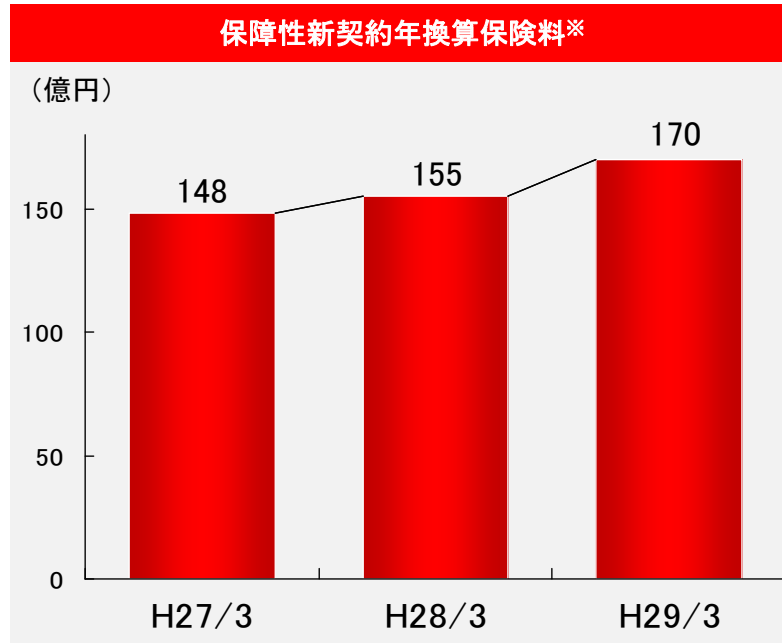
- 1株当たり年間配当金は、2期連続の増配となる32.5円を予定。配当性向は27.6%。  
なお、平成30年3月期の1株当たり年間配当金予想は、3期連続の増配となる35円(うち中間配当17.5円)。
- 内部留保の積み上げおよび継続的な自己株式の取得により、1株当たりEVは3,621円、1株当たり広義の自己資本は2,149円。

※ 1株当たりEV =  $\frac{\text{Group MCEV}}{\text{発行済株式総数(自己株式を除く)}}$       1株当たり広義の自己資本 =  $\frac{\text{純資産}^* + (\text{価格変動準備金、危険準備金、貸倒引当金})}{\text{発行済株式総数(自己株式を除く)}}$

\* 純資産は、純資産の部合計から新株予約権、非支配株主持分を控除して算出

## 【中核生保の主要ポイントと状況(太陽生命)】

- 時代の変化を先取りした商品を開発、対面サービスを強化し、保障性商品を拡販。



- 保障性新契約年換算保険料\*は、医療・介護系商品の販売好調による第三分野新契約年換算保険料の増加等により170億円、前年から10.1%の増加。
- 保障性保有契約年換算保険料\*は、過去販売した商品の満期による減少がある中で、新契約業績の好調により1,527億円、前年度末から1.0%の増加。

※ 保障性年換算保険料(太陽生命独自の指標)とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保険料の合計です。

※ 保障性年換算保険料の伸展は「EVの伸展」に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標としています。

- ・ 平成28年3月に「ひまわり認知症治療保険」を発売。販売約14ヵ月で20万件※<sup>1</sup>のご契約をいただいております、契約業績(特に保障性年換算保険料の伸展)に大きく寄与。

※<sup>1</sup> 「ひまわり認知症治療保険」「認知症治療保険」の合計販売件数(平成29年5月2日現在)。

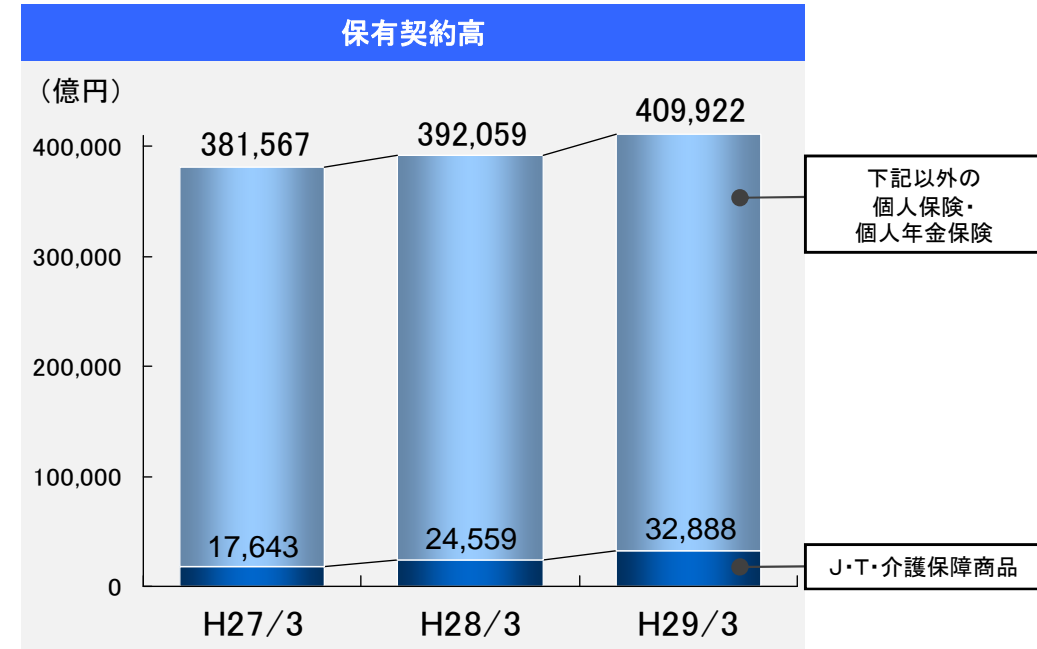
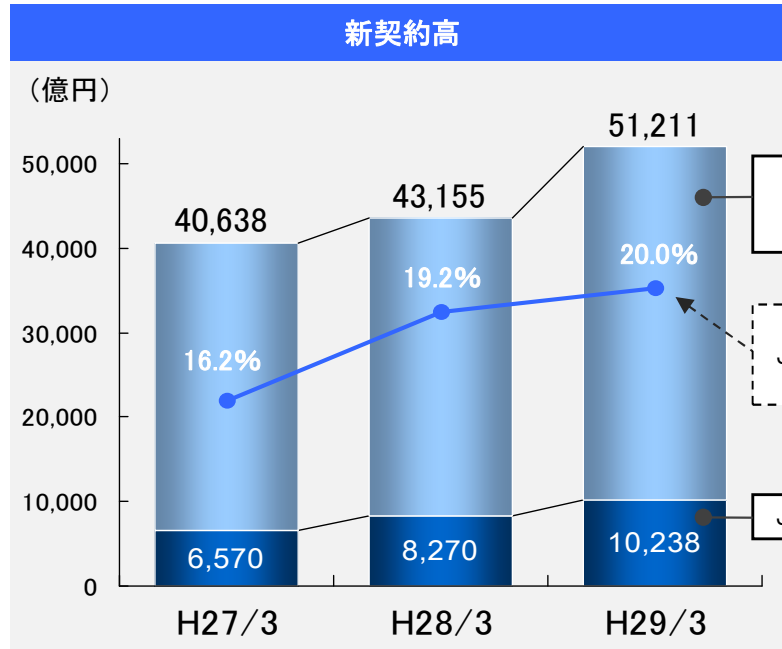
- ・ 平成28年4月に「かけつけ隊サービス※<sup>2</sup>」を開始し、ご利用件数は1年間で2万件を超過。

※<sup>2</sup> シニアのお客さまが安心、便利に給付のお手続きができるよう、専門知識のある内務員が直接お客さまやご家族のもとへ訪問し、お手続きサポートを行うサービス。



## 【中核生保の主要ポイントと状況(大同生命)】

- 引き続き主力の個人定期保険、就業不能保障商品(Jタイプ・Tタイプ)や介護保障商品(収入リリーフ・介護リリーフ)の販売が好調。



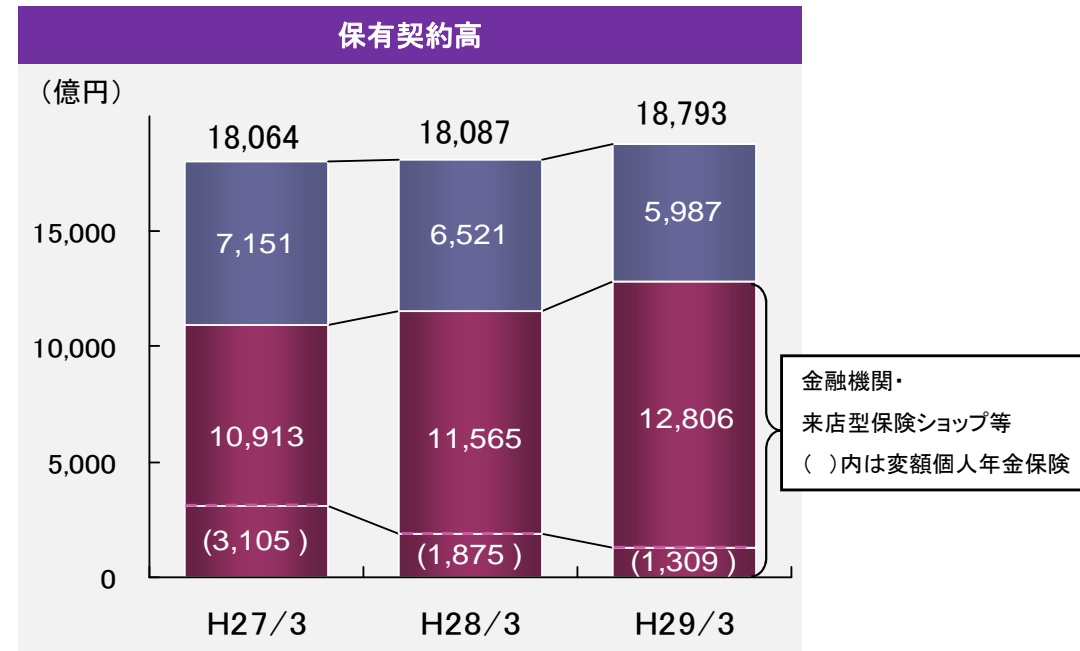
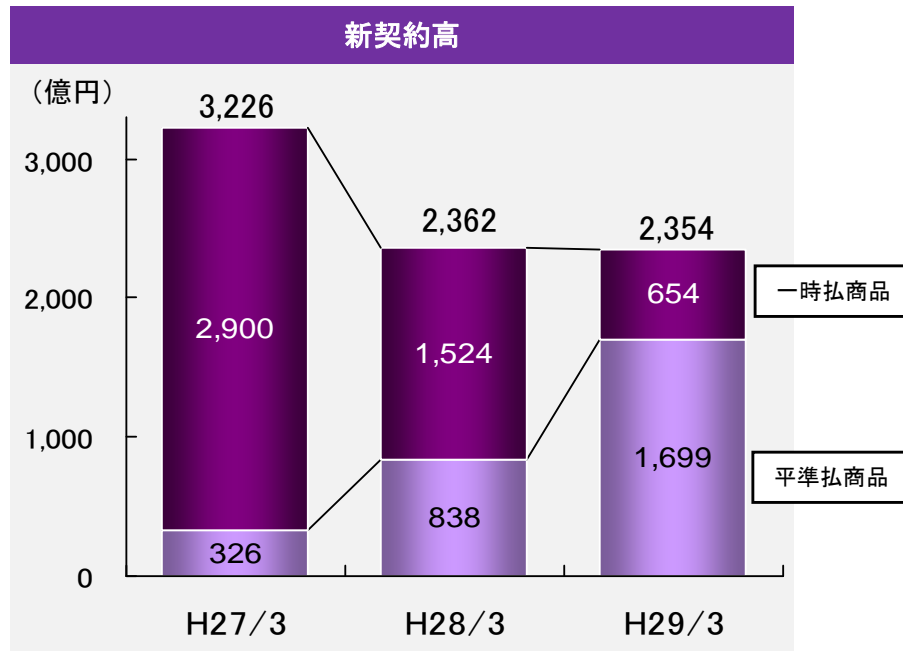
- 新契約高※は5兆1,211億円、前年から18.7%の増加。これは主に、主力の個人定期保険、就業不能保障商品(Jタイプ・Tタイプ)や介護保障商品(収入リリーフ・介護リリーフ)の販売が好調なことによる。新契約高が5兆円を上回ったのは、平成4年度以来24年ぶり。また、新契約高における就業不能保障商品および介護保障商品の占率は20.0%となり、前年から0.8ポイントの増加。
- 保有契約高※は過去最高の40兆9,922億円、前年度末から4.6%の増加。

※ 個人保険・個人年金保険の契約高に、死亡保障がないJタイプ(無配当重大疾病保障保険)の重大疾病保険金額、Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)の就業障がい保険金額、介護リリーフ(無配当終身介護保障保険)の介護保険金額を加算した金額ベース。

- ・ 企業に必要な保障(標準保障額)に基づいて、死亡保障(定期保険等)に加え、就業不能保障(Jタイプ・Tタイプ)を含めた「トータルな保障のご提案活動」を推進。また、経営者の個人保障として介護保障(収入リリーフ・介護リリーフ)の推進を強化。結果、新契約高は前年および業績見通しを大きく上回った。保有契約高は過去最高となり、好調な契約業績。
- ・ 引き続き、中小企業経営者のニーズにお応えできるよう、企業に必要な保障(標準保障額)に基づく死亡・就業不能時等のリスク対策としてトータルな保障の提案活動に取り組む。

## 【中核生保の主要ポイントと状況(T&Dフィナンシャル生命)】

- 平準払商品「家計にやさしい収入保障」の販売が好調。保有契約高は前年度末から増加。



- 新契約高は2,354億円、一時払商品は前年を下回ったが、平準払商品は前年から倍増。
- 保有契約高は1兆8,793億円、平準払商品の販売好調により、前年度末から3.9%の増加。

- ・ 平準払商品「家計にやさしい収入保障」の販売が平成28年8月のリニューアル効果により好調に推移し、同商品の新契約高は前年から2.4倍。
- ・ 平成29年2月よりお客さまの多様なニーズにお応えする第三分野の平準払商品「家計にやさしい終身医療」を販売開始。
- ・ 平成29年5月より契約年齢範囲を拡大した一時払終身保険「生涯プレミアムワールド4」「生涯プレミアムジャパン4」を販売開始。
- ・ 引き続き、「商品ラインアップの多様化」「代理店販売網の拡大」「お客さまサービスの向上」を推進していく。

# 参考データ(契約業績:個人保険・個人年金保険)

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
保有契約年換算保険料	14,984	+294 (+2.0%)	6,365	△ 98 (△ 1.5%)	7,478	+420 (+6.0%)	1,140	△ 27 (△ 2.3%)
うち第三分野	1,911	+120 (+6.7%)	1,032	+29 (+3.0%)	853	+92 (+12.1%)	26	△ 1 (△ 6.6%)
保有契約高	614,462	+8,639 (+1.4%)	217,411	△ 2,423 (△ 1.1%)	378,256	+10,355 (+2.8%)	18,793	+706 (+3.9%)

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約年換算保険料	1,370	+44 (+3.3%)	360	△ 34 (△ 8.7%)	937	+152 (+19.4%)	72	△ 73 (△ 50.5%)
うち第三分野	286	+40 (+16.5%)	134	+19 (+16.7%)	151	+20 (+15.9%)	0	+0 (+286.6%)
新契約高	65,064	+6,071 (+10.3%)	20,848	△ 493 (△ 2.3%)	41,862	+6,572 (+18.6%)	2,354	△ 7 (△ 0.3%)

\* 新契約には、転換による純増加を含んでおります。

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
解約失効率(契約高ベース)			5.71%	0.04ポイント上昇	6.45%	0.03ポイント低下	3.12%	0.29ポイント低下
解約失効高	36,849	+92 (+0.3%)	12,558	△ 1 (△ 0.0%)	23,727	+145 (+0.6%)	563	△ 51 (△ 8.4%)

# 参考データ(損益関係)

(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
経常収益	19,757	△ 501 (△ 2.5%)	8,979	+240 (+2.8%)	9,444	+86 (+0.9%)	1,558	△ 622 (△ 28.5%)
うち保険料等収入	15,052	△ 692 (△ 4.4%)	6,543	△ 28 (△ 0.4%)	7,663	+174 (+2.3%)	809	△ 845 (△ 51.1%)
うち資産運用収益	4,027	+230 (+6.1%)	2,280	+251 (+12.4%)	1,540	△ 110 (△ 6.7%)	230	+88 (+61.9%)
うち 利息及び配当金等収入	2,766	△ 140 (△ 4.8%)	1,381	△ 99 (△ 6.7%)	1,323	△ 42 (△ 3.1%)	75	+1 (+1.9%)
うちその他経常収益	678	△ 38 (△ 5.3%)	155	+17 (+12.5%)	240	+23 (+10.9%)	518	+135 (+35.2%)
経常費用	18,185	△ 359 (△ 1.9%)	8,313	+365 (+4.6%)	8,617	+163 (+1.9%)	1,496	△ 671 (△ 31.0%)
うち保険金等支払金	11,603	△ 1,425 (△ 10.9%)	5,353	△ 688 (△ 11.4%)	4,848	△ 180 (△ 3.6%)	1,383	△ 560 (△ 28.8%)
うち責任準備金等繰入額	2,591	+647 (+33.3%)	999	+601 (+150.9%)	2,047	+234 (+12.9%)	0	△ 0 (△ 65.9%)
うち資産運用費用	1,302	+528 (+68.1%)	831	+465 (+127.4%)	482	+138 (+40.1%)	2	△ 77 (△ 97.3%)
うちその他経常費用	711	△ 95 (△ 11.8%)	356	△ 20 (△ 5.4%)	207	△ 34 (△ 14.3%)	13	△ 4 (△ 25.9%)
経常利益	1,572	△ 142 (△ 8.3%)	666	△ 124 (△ 15.8%)	826	△ 76 (△ 8.4%)	61	+49 (+411.3%)
特別利益	3	+1 (+83.2%)	2	+2 (+6,086.3%)	-	△ 132 (-)	-	△ 0 (-)
特別損失	353	+59 (+20.1%)	192	△ 10 (△ 5.1%)	124	+36 (+41.7%)	36	+29 (+479.8%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	253	△ 65 (△ 20.5%)	117	△ 63 (△ 35.3%)	136	△ 1 (△ 1.1%)	△ 0	+0 (△ 68.7%)
法人税等合計	214	△ 160 (△ 42.9%)	69	△ 69 (△ 50.1%)	134	△ 129 (△ 49.0%)	4	+3 (+339.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	751	+26 (+3.6%)	289	+21 (+7.9%)	431	△ 113 (△ 20.9%)	21	+16 (+335.1%)

\* 1 T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の合算とは必ずしも一致いたしません。

\* 2 保険料等収入の3社合算は1兆5,016億円(前年比△4.4%)です。

\* 3 大同生命の特別利益の前年比減少(△132億円)は主に、前年度の太陽生命への不動産売却益131億円によるものです。連結上は内部取引として消去されるため、損益に与える影響はありません。

\* 4 特別損失(353億円)のうち、291億円は価格変動準備金への繰入(太陽生命:180億円、大同生命:108億円、TDF生命:3億円)です。

\* 5 親会社株主に帰属する当期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、当期純利益を記載しております。

## 参考データ(その他の指標等)

### ■ 基礎利益と順ざや額

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
基礎利益	1,599	+68 (+4.5%)	534	△ 3 (△ 0.6%)	1,056	+8 (+0.8%)	8	+63 (-)
順ざや額(△逆ざや額)	298	△ 103 (△ 25.8%)	77	△ 50 (△ 39.6%)	250	△ 55 (△ 18.2%)	△ 29	+2 (△ 7.5%)

\* T&Dフィナンシャル生命の当事業年度の基礎利益は、為替変動に伴う責任準備金繰入額(23億円)を控除しております。前事業年度において当事業年度と同様に基礎利益を算出した場合、前年比は+116億円(-)、3社合算の前年比は+121億円(+8.2%)となります。

### ■ ソルベンシー・マージン比率と実質純資産

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率			848.6%	42.0ポイント低下	1,252.6%	89.3ポイント低下	1,295.6%	34.9ポイント上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,105.1%	50.7ポイント低下	857.6%	40.9ポイント低下	1,261.3%	88.7ポイント低下		

\* T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
実質純資産	25,925	△ 3,351	10,354	△ 2,157	13,544	△ 816	1,880	△ 403

## 参考データ(その他の指標等)

### ■ 有価証券等の差損益(一般勘定)

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
有価証券の差損益	11,630	△ 4,023	5,625	△ 2,466	5,026	△ 1,166	978	△ 390
うち公社債	7,365	△ 2,567	3,623	△ 1,427	3,072	△ 931	669	△ 208
うち株式	2,861	△ 88	1,188	△ 313	1,672	+225	-	-
うち外国証券	660	△ 1,368	610	△ 838	47	△ 522	1	△ 7
土地等の差損益	601	+157	223	+67	378	+90	-	-

\* 1 有価証券の差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

\* 2 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

### ■ 市場整合的エンベディッド・バリュー(MCEV)[速報]

(単位:億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比	当事業年度末	前年度末比
MCEV	22,905	+3,968	7,775	+517	14,174	+3,394	974	+39

\* Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(2兆2,624億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(281億円)」の合計額です。

(単位:億円)

	T&D保険グループ全体 (3社合算)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比	当事業年度	前年比
新契約価値	1,195	+631	442	+261	743	+396	9	△ 25

\* MCEVについては本日開示のニュースリリース(速報版)をご覧ください。なお、詳細につきましては、第三者の検証を受けた平成29年3月末MCEVを、平成29年5月18日に開示する予定です。

# 平成30年3月期 通期業績予想

## ■ T&Dホールディングス連結

(単位:億円)

	平成29年3月期実績	平成30年3月期予想
経常収益	19,757	19,000 程度
経常利益	1,572	1,500 程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	751	740 程度

平成29年3月期の1株当たり年間配当金(予定)は、平成29年2月14日公表分(2.5円増配)から修正ありません。

	平成29年3月期予定	平成30年3月期予想
1株当たり年間配当金	32.5円(うち中間配当15円)	35円(うち中間配当17.5円)

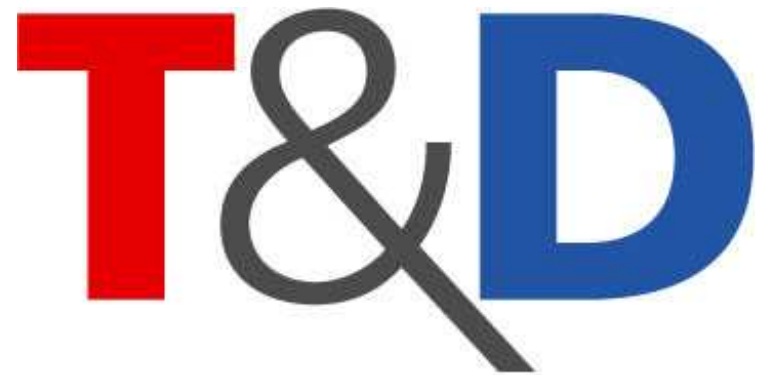
なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成30年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位:億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	7,700 程度	9,700 程度	2,200 程度
経常利益	620 程度	860 程度	10 程度
当期純利益	290 程度	440 程度	0 程度

\* 連結と生命保険会社3社合計との差額は、3社以外の連結子会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。



T&D保険グループ

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報部 川俣・勝呂	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 松島	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 平本	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課 高橋	TEL 03-6745-6808